



とうふう 東風

矢巾町立矢巾東小学校
校報 12号
H27.9.14
文責 校長 菅原

校長先生 勝負！

「校長先生、俺、長(中?)距離は自信あるよ！」
業間マラソンの最後に6年生のTさんが話しかけてきました。

これは私への挑戦状か！ 勝敗は二の次！ 心意気を示さずば男が廢ります。12歳と57歳の対決です。400m一本勝負。

勝負は**当然57歳の勝ち!?** 亀がウサギに勝つには作戦が必要！ 200mからコーナーを回らず、ワープしました。周りの子供達にはズルと見えたかもしれませんが、身長差・脚の長さ等鑑み、当然のハンデ、知恵の勝利??です。

Tさんのぐんぐん加速する背中を見ながら嬉しくもあり頼もしくもありました。へとへとになっても楽しい業間マラソンでした。

今、全校で持久走大会に向かって、それぞれの目標を掲げて頑張っています。全校みんなが校庭で走る姿は壮観です。6年生は大会までにみんなの走行距離を合算してハワイホノルルまで走ろうと頑張っています。

努力の成果なんて目には見えない。しかし、紙一重の薄さも重なれば本の厚さになる。 君原健二 メキシコオリンピック マラソン銀メダリスト

勉強も運動も生活の全ての営みはこの言葉に集約されると思います。

持久走大会は9月30日(水)です。子供一人一人、一枚一枚の紙にどんなストーリーが書かれるか楽しみです。

駐車券は駐車権ではありません

駐車場係りに苦情は言わないで下さい！

「また言われました」とため息をつきながら入ってくる駐車場係の職員。

授業参観や行事等で車で来校する皆様に**駐車券**を発行していますが、これは**体育館付近の駐車場に優先的に止めるためのものではありません**。台数確認とその対応のためのものです。駐車場の収用台数には限りがあります。したがって、満杯になれば下北グラウンドに回ってもしなければならないかもしれません。下北グラウンドの駐車に回された方の気持ちは分かります。ですが、その気持ちのはけ口を駐車場係のPTA役員や学校職員に向けられるのは筋違いです。ほとんどの方々は指示に従っていただいておりますが、今後ともどうかご理解いただきたいと存じます。

下北グラウンドは有料です。今後場合によっては利用が制限されることも考えられます。

他校と違い、東小は校庭に車を乗り入れできない環境ですので、今後できるだけ徒歩での対応の準備を宜しくお願いいたします。ついでですが、学校行事等の際、**ローソンの駐車場には停めないで**ください。

矢巾町小学校陸上記録会

はいよいよ明日、9月15日です。選手はもちろん応援の児童も今まで精一杯頑張ってきました。選手もさることながら、応援の子供たちの姿もぜひご覧頂きたいと存じます。



ハンター集結！

おやじと遊ぼう 矢巾東小 逃走中VI

強面ハンター、今年も集結！ 8月29日(土) 児童保護者総勢180名余の参加を得て行われた矢巾東小逃走中バージョンVI。3チームに別れ、生き残りをかけ廊下、教室、アリーナを逃げまわりました。遊びも真剣だからこそ面白い。今年は3月に卒業した北中女子もハンターで登場！大いに盛り上げてくれました。その後のカレーもまた格別にうまし！賄いを手伝っていただきました、お母さん方にも感謝感謝の半日となりました。中倉会長を初めとするおやじの会の皆様、準備を含めハンターにご協力いただきました皆様方本当にありがとうございました。

学び合おう

礼節を重んじ 姿勢よく

スクールガードボランティア特集

スクールガード ボランティアさん に感謝

9月8日(火)朝。いつもお世話いただいています、スクールガードボランティアの工藤さんから電話で嬉しいお話をいただきました。

いつものように1年生と一緒に帰るとき、一人の女子がお腹が痛いと言って歩けなくなったとのこと。そこで、工藤さんがその子をおんぶしてあげると、一緒に歩いていた女子がその子のカバンを家まで持って行ってくれたということでした。その思いやりと頑張りに本当に感動したとのことでした。

嬉しかったのは、善行を示してくれた子供と共に、それをお伝えいただいた工藤さんのお心遣いです。本当にありがとうございました。さっそく、放送で全校に知らせました。

善行といえば、朝歩いていると、道端のゴミを手にいっぱい持って袋に入れてくれる子供たちが増えてきました。挨拶は全員とはいえませんが、立ち止まって丁寧にお辞儀する子、手を振ってくれる子、頑張ってくださいと励ましてくれる子、などなど、とても雰囲気の良い挨拶ができる子が増えてきました。これらは日頃見守ってくださるスクールガードボランティアさん、PTA・地域の、皆さんのお陰だと思えます。感謝申し上げます。

スクールガード ボランティア 各地区登録概要

毎年、各地区から行政区長さんを通してスクールガードボランティアの名簿があがってきます。

今年度の概要は以下の通りです。

左のように地区によってはPTAからも協力をいただいています。

このシステムができたのは開校まもなくのことですが、PTAからの協力は5年前ごろからのようです。

PTAのボランティアは仕事を休んで対応している地区もあります。

4月16日現在					
地区名	行政区より	PTAより	地区名	行政区より	PTAより
高田1区	5名	2名	下北	3名	
高田2区A	5名	2名	矢巾1区	4名	2名
高田2区B		1名	矢巾2区	4名	1名
高田3区	2名	2名	矢巾3区	2名	3名
藤沢	2名	1名	合計	27名	14名

このことについて、6月にスクールガードボランティアの皆さんから子ども達の様子や各地区との情報交換会が開かれました。その中で、

- 1 まとめて連れて行くのが大変。列が長くなり、走る子もいて大変だ。
- 2 ボランティアの高齢化で人選するのが大変。ボランティアの手が足りない。
- 3 子ども会でも輪番制で行っているが、仕事を休んで出なければならないこともある。
- 4 1年生の子供にも自立させる必要があるのではないか。
- 5 1学期だけスクールガードの世話をして、あとは自分達で帰らせるなどでもいいのではないか。

など、様々な思いや意見が交わされました。

これを受けて、8月の学校評議員会に各地区のコミュニティー会長・行政区長さんを交え、意見交換を行いました。

結論から言えば、今のシステムを見直す必要があることに意見の一致を見ました。

従いまして、来年度のスクールガードボランティアのあり方について、大きな転換が必要であるという方向性であります。

今後PTA及び各行政区長さん等と連携しながら進めて参ります。